

輪島市黒島地区復興まちづくりコンペ

～ 審査結果報告 ～

平成20年12月

輪島市黒島地区復興まちづくりコンペ実行委員会

1 コンペの趣旨

平成19年3月25日午前9時42分、輪島市門前町の西方沖を震源とする能登半島地震が発生し、黒島地区をはじめとする輪島市各地でも大きな被害を受けました。

地震から15ヶ月が経過した現在の被災地は、住宅再建のモデルとなる「能登ふるさと住宅」が完成し、また、各地区に「住まい・まちづくり協議会」が結成され、地域住民自ら地域の再建に向けた活動を開始するなど、復旧から復興へ向けた動きが本格化しています。

しかし、いずれの地区も過疎化、高齢化が大変深刻で、また産業が停滞ぎみであることなど、今後、地域が沈滞し、復興が遅れることが心配されています。

このような時期に当たり、地震による被害が最も大きかった地区のひとつである「黒島地区」をモデル地区として、広く復興まちづくりに関するアイデアを募集します。

黒島地区では、被災直後、「黒島地区まちづくり協議会」が組織され、本格的な復興に向けた議論を重ね、具体的な計画の検討を行っています。特に、北前船の船主集落として発達した歴史や、能登地方でも有数の町並みをどのように活用するかが大きな焦点となっています。

今回提案していただくのは、地区全体のまちづくり計画に関するアイデアと、地区の核となっている文化財建造物の活用に関するアイデアの2部門です。

第1部門として、伝統的な町並みを有し、伝統的建造物群保存地区指定を目指しているものの、震災で大きな被害を受けた黒島地区全体を対象として、その地区復興計画の策定に関するまちづくりのアイデアを募集するものです。

第2部門として、黒島地区の歴史や町並みの核であり、復興計画の拠点となる石川県指定文化財旧角海家住宅とその周辺を対象とし、その施設整備計画や活用計画についてのアイデアを募集するものです。

輪島市や黒島地区まちづくり協議会では、皆さんから提案されたアイデアを参考とし、今年度中に復興計画をまとめる予定です。被災地復興のため、是非、素晴らしいアイデアを提案していただけるようお願いします。

(輪島市黒島地区復興まちづくりコンペ募集要項より)

2 コンペのテーマと条件

【第1部門：黒島地区の復興まちづくりアイデア部門】

- ・伝統的建造物群保存地区の指定を目指している黒島地区の伝統的な町並みを活かし、今後、持続可能な復興まちづくりに資する提案であること。
- ・黒島地区の防災性の向上に配慮された提案であること。
- ・黒島地区の地形、風土、社会経済状況に即した提案であること。
- ・地域振興・まちづくりへの波及効果に配慮された提案であること。
- ・住民主体、あるいは住民参加を前提とした提案であること。

【第2部門: 旧角海家住宅及び周辺地区の活用アイデア部門】

- ・石川県指定文化財・旧角海家住宅の文化財的価値を損なわない提案であること。
- ・提案を行う上で旧角海家住宅の主屋、土蔵等を一部改変や改修する必要がある場合には、将来的な現状復旧、文化財的価値の回復が可能であること。
- ・持続可能な地域振興に貢献する可能性を有した提案であること。
- ・著しい過疎・高齢化地域内に位置する施設として、施設の管理・運営に配慮された提案であること。

3 エントリー数

平成20年9月19日(金)のエントリー期限までに、参加登録をした団体は下表の通り。

表1 エントリー数

	第1部門	第2部門	同時応募
団体数	12	5	17
合計	34		

4 応募作品数

平成20年10月1日(水)～10月10日(金)の受付期間内に提出された応募作品は下表の通り。

表2 応募作品数

	第1部門	第2部門
作品数	16	7
合計	23	

5 審査員

学識経験者

土屋 敦夫(滋賀県立大学教授:生活環境論・都市計画史・保存再生論)

谷 明彦(金沢工業大学教授:都市計画・都市行政・都市デザイン)

東四柳史明(金沢学院大学教授)はご都合により審査員を辞退されました。

地元

川端 一人(黒島区区長・黒島地区まちづくり協議会会長)

最終選考

工野 伸治(黒島地区まちづくり協議会会員)

最終選考

黒島地区まちづくり協議会

1次選考(協議会として1審査員分)

輪島市

大岩 主悦(輪島市教育長)

6 審査方法

(1) 第1選考

- ・各部門の応募作品からそれぞれ5作品に絞り込む。
- ・各審査員に、第1位から第5位までを各1点選んでもらう。
(1位:5点、2位:4点、3位:3点、4位:2点、5位:1点を配点)
- ・獲得点数の多い上位5作品を最終選考に進める。

(2) 最終選考

- ・各部門の5作品から、最優秀賞1点、優秀賞2点をそれぞれ決定する。
- ・各審査員に、第1位から第3位までを各1点選んでもらう。
(1位:5点、2位:3点、3位:1点を配点)
- ・点数の上位から、最優秀賞1点、優秀賞2点と決定する。
- ・投票に入る前に最終選考に残った5作品について、審査員の意見交換を行った。

7 審査結果

(1) 第1選考の結果

- ・第1選考の結果は以下の通り。

表3 第1部門の第1選考結果

	参加番号	各審査員の順位					獲得点数	順位
		審査員	審査員	審査員	審査員	審査員		
1	H20-KC-1001						0	
2	H20-KC-1003	2	2		1		13	1
3	H20-KC-1004			4			2	
4	H20-KC-1005	1		3			8	4
5	H20-KC-1007						0	
6	H20-KC-1008						0	
7	H20-KC-1009	5		1	4		8	4
8	H20-KC-1011			5			1	
9	H20-KC-1012						0	
10	H20-KC-3001	3	1		3		11	3
11	H20-KC-3002		3	1	2		12	2
12	H20-KC-3003		4				2	
13	H20-KC-3005			5			1	
14	H20-KC-3006	4	5		5		4	
15	H20-KC-3011						0	
16	H20-KC-3015						0	

表4 第2部門の第1選考結果

	参加番号	各審査員の順位					獲得点数	順位
		審査員	審査員	審査員	審査員	審査員		
1	H20-KC-2002	1		4			7	4
2	H20-KC-3001	4	4		3		7	4
3	H20-KC-3002	2	5	2	2		13	2
4	H20-KC-3003		3		5		4	
5	H20-KC-3004	3	1	1	1		18	1
6	H20-KC-3005		2	2	4		10	3
7	H20-KC-3006	5		5			2	

(2)最終選考の結果

・最終選考の結果は以下の通り。

表5 第1部門の最終選考結果

1次 選考 順位	参加番号	各審査員の順位					獲得点数	順位
		審査員	審査員	審査員	審査員	審査員		
1	H20-KC-1003	1	2	2	1	2	19	1
2	H20-KC-3002	3				3	2	5
3	H20-KC-3001	2	3	3	3	1	11	2
4	H20-KC-1005			1	2		8	3
4	H20-KC-1009		1				5	4

表6 第2部門の最終選考結果

1次 選考 順位	参加番号	各審査員の順位					獲得点数	順位
		審査員	審査員	審査員	審査員	審査員		
1	H20-KC-3004	1	1	1	1	1	25	1
2	H20-KC-3002	2		3	2	2	10	2
3	H20-KC-3005		2	2	3		7	3
4	H20-KC-2002						0	5
4	H20-KC-3001	3	3			3	3	4

8 審査結果

表7 第1部門の提案名と提案者

	提案名	提案者
最優秀賞	気配のある場所 -活き活きとした集落-	石井大五[フューチャースケープ建築設計事務所]
優秀賞	歴史文化と、みらいのまちづくり黒島 -海の道、山の道、歴史の道が織り成す創造のまち-	大國道夫[大國道夫・都市・建築総合研究所(株)], 吉田修[同]、進藤一俊[同]、福田博[PAM企画]
優秀賞	島守り(しまもり) -新たな「公」の導入による持続可能な地域と観光の実現を目指して-	佐野浩祥[立教大学アミューズメント・リサーチセンター], 西成典久[立教大学観光学部]
次点	黒島「まるごと」まちづくりプラン	本多和之 [一級建築士事務所 本多都市・建築設計事務所]
次点	たつのおとしご計画	野中勝利[筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻]、上田恵佳[同修士1年]、富山かなえ[同修士1年]、川中有理[筑波大学芸術専門群4年]

表8 第2部門の提案名と提案者

	提案名	提案者
最優秀賞	旧角海家住宅の居心地	大岡慎一郎[GOCOCHI Design]
優秀賞	地域住民で継ぎ足す黒島遺伝子 -「くろしまー休舎(いちきゅうしゃ)」-	野中勝利[筑波大学大学院人間総合科学研究科芸術専攻]、上田恵佳[同修士1年]、富山かなえ[同修士1年]、川中有理[筑波大学芸術専門群4年]
優秀賞	旧角海家住宅 庭園計画	岡 昌史 [フリーランス(ランドスケープ・アーキテクト)]
次点	角海家 -歴史と自然とマナーによる環境対応型住宅-	大國道夫[大國道夫・都市・建築総合研究所(株)], 吉田修[同]、進藤一俊[同]、福田博[PAM企画]
次点	空と海と笑顔をつなぐえき -黒島活性化の為に角海家有効利用計画-	石田拓己[東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻]、田中裕子[同]、松田耕[東京大学大学院]、工藤竹弘[同]、伊藤充洋[同]、椎田宗樹[同]、磯部孝行[同]、平口なつ子[東京大学]